

2022年度 日本工学院専門学校											
C G映像科											
プロジェクトワーク 1 1											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	藤原 隆洋			実務経験	有	職種	美術家				
担当教員紹介											
立体造形アーティストとして国内外で創作活動・作品発表・メディア掲載多数。デッサンに限らず発想法、彫刻など、創作と応用について指導をする。											
授業概要											
クリエイティブな発想力を養うためには、コンピューターを使った制作に拘ることなく、様々な表現方法や素材を知ること・経験することが有効である。また、多種多様な表現の基本的な知識をより多く身につけることは、新しい物事を発想する際の大きな原動力ともなる。この科目を受講する学生は、これまでデッサン等で養ってきた描写・造形の基本スキルを発展させ、様々な表現方法を模索し、造形概念を展開する。この授業で養われる表現力と経験は、CG制作において、より質の高い表現として活かされ、完成度の高い作品づくりへとつながる。											
到達目標											
・テーマ毎に画材用具・描画方法等を検討し、その画材の特徴と使用法を十分に理解し、適切に扱うことができる。 ・制作に必要な集中力と持続力を能動的に持つことができる。 ・作品のねらいを明確にし、イメージを的確に伝えることができる。											
授業方法											
この授業では、1,2年次のデッサン授業で培った技能を発展させ、表現と知識をさらに深める。さらに、時間内での制作工程、スケジュール管理を各自が計画し、完成度の高い作品制作を目指す。また、画材や表現方法にも着目し、画材の特性や効果を理解しながら、ビジュアル表現の幅を増やし、CG制作に応用する。											
成績評価方法											
課題作品	80%	作品の完成度、目標到達度等により評価									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度により評価									
履修上の注意											
授業中の制作態度、時間・用具の管理には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題作品を提出しても、授業出席率75%未満の者は不合格とする。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、随時授業内に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス/制作計画・素材・技法等の説明：制作内容・工程を計画する										
第2回	作品制作1：使用素材・用具の準備をする										
第3回	作品制作2：下書き・ラフスケッチ等で本制作に入る準備をする										
第4回	作品制作3：本制作を開始する										
第5回	作品制作4：使用画材が適切に扱われているか確認をする										

2022年度 日本工学院専門学校	
C G映像科	
プロジェクトワーク 1 1	
第6回	制作進捗確認日：制作内容のチェックを受け、素材の取り扱い方・工程の確認をする
第7回	作品制作5：フィードバックを受け、作品制作の表現・方向性を確認する
第8回	作品制作6：素材、表現方法の理解度を高め、造形力と発想力を向上させる
第9回	作品制作7：素材、表現方法の理解度を高め、造形力と発想力を向上させる
第10回	制作進捗確認日：フィードバックを受け、作品完成度を高めるためのポイントを理解する
第11回	作品制作8：素材、表現方法の理解度を高め、造形力と発想力を向上させる
第12回	作品制作9：素材、表現方法の理解度を高め、造形力と発想力を向上させる
第13回	作品制作10：素材、表現方法の理解度を高め、造形力と発想力を向上させる
第14回	作品制作11：仕上げ、作品の完成度を確認する
第15回	作品発表・講評会：各自の問題点を認識するとともに、修正・成果へつなげるポイントを確認する